



ニセコ町の観光の状況

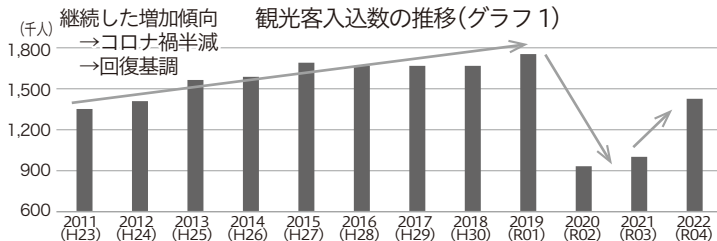
気持ちのいい気候、羊蹄山などの豊かな自然環境と景観、おいしい食べ物、温泉や川下りなど。やっぱり、我が故郷ニセコ町は、夏も最高だな！

お帰りアニツキー。アニツキーだけじゃなく、みんながニセコ町の夏を気に入ってくれていて、たくさん観光客が来てくれるよね。この数年、コロナ禍でいろいろな制約があった分、これからたくさんの人にニセコ町を満喫してほしいんだ。

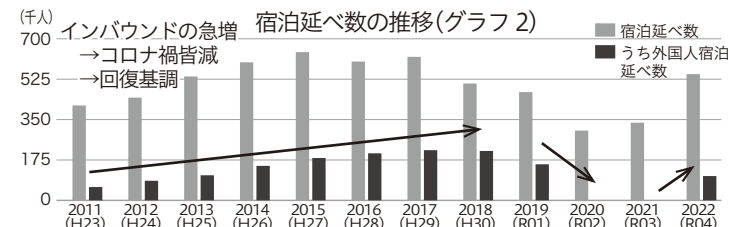
観光業は、ニセコ町の二大産業のひとつ。コロナ禍をみんな乗り越え、これから観光業が元気になることで、農業も商工業も一緒に、町全体が元気になることを期待したいな。すでに昨冬シーズンから外国人観光客も増えてきていると聞いているけど。

ニセコ町の観光統計（グラフ1・2）を見ると、コロナの影響の大きさがよく分かる。それでも昨年度の観光客入込数はコロナ前の85%まで回復しているよ。外国人観光客数もコロナ禍ではほぼ0になったけど、年間では5割、冬期間に限ると7割まで回復。「コロナ前のニセコ

観光客入込数の推移(グラフ1)



宿泊延べ数の推移(グラフ2)



が戻ってきている」と、よく耳にするし、暮らしの中でもそれを実感することが多くなったね。

ニセコ町の観光、これからも順調に回復してほしいと思うけど、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスは、経済活動に限らず人々の考え方や、暮らし方にも影響を与え、いろんな分野でアフターコロナのあり方が見直されているんだ。ニセコ町の観光もこれからどうあるべきか、それがとても大切なんだ。

ニセコ町観光の強み・弱みなどの分析（表1）

内部要因	強み(Strength)	弱み(Weaknesses)
	- 国内外のスキーヤー・スノーボーダーに知られた「パウダースノー」をはじめ、国際的リゾート地としてのブランド力、認知度の高さ - 日本百名山「羊蹄山」を望む絶景。ニセコ連峰や清流日本一にもなった尻別川など、豊かな自然環境 - ユニークで多様な観光体験（登山、スキー、ラフティング等のアクティビティや食、温泉など）	- 新千歳空港や札幌などから、最短でも車で2時間程度かかる立地 - ニセコ町への交通アクセス、およびエリア内の域内の移動手段（2次交通、域内交通）が限定的（観光客の8割が自家用車・レンタカーを利用） - 多様な顧客ニーズを満足させるサービス提供（サービスの種類・人質）の不足
外部要因	今後の機会(Opportunities)	今後の脅威(Threats)
	- 北海道新幹線の延伸（2031年に新函館～札幌間の延伸により、隣接する倶知安町に新駅開業予定）、および高速道路（後志自動車道）の延伸 - 北海道・札幌でのオリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催（2030年開催を招致中／アルペンスキー） - 宿泊施設や観光施設等の新規開業	- 地域間競争の激化（特に冬季は国内だけでなく、世界的なスキーリゾートが競合となる） - 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行など、観光リスク（疫病、気候危機、自然災害、戦争や不況等）の発生によるインバウンド客の急激な減少 - 過剰な観光開発等による自然環境への負荷増大やオーバーツーリズム（混雑や満足度低下）

観光振興ビジョン



「ぼくもそう思うよ。新型コロナウイルスを含め、国の観光立国政策など観光を取り巻く状況が大きく変化している中で、町は、2022年3月に、観光地として今後の目指すべき将来像や観光地づくりの方向性

を示す「観光振興ビジョン」を定めたんだ。その策定作業では、ニセコ町観光の強み・弱みなどの分析（表1）に加え、町民アンケート、事業者へのヒアリング、ニセコ高校生とのワークショップ、まちづくり町民講座、観光フォーラム、そして事業者や有識者、公募委員など14人で構成される観光審議会を5回開催し、これからのニセコ町の観光について、議論を重ねてきたんだ（詳しくは広報ニセコ2022年3月号参照）。



パブリックコメント（意見募集）も募っていたやつだね。たくさんの方の作業・議論を経て、町民や事業者、観光協会、役場などで共通の認識・目標を持っていたんだ。それで、どんなビジョンになったんだい。



これからの観光地づくりの新しい基準として、持続可能な観光の国際基準を踏まえたものにしたんだ。

踏まえたものにしたんだ。

観光の影響と効果



その新しい国際基準では、観光による地域や環境への影響をどのように捉えているんだい。



例えば環境面では、観光客が消費する電気や灯油などのエネルギー量（CO₂排出量）、ごみの排出量、水の使用量、環境配慮の取り組みを実践している事業者の数などが評価項目なんだ。昨年度の町の調査では、町全体のごみ発生量の約3割が観光客によるもの、また水の使用量は観光客は一般町民の約3倍といった推計データもあるんだ。

観光客はより多くの資源を消費しているといえるね。

ニセコ町観光振興ビジョン（図1）

将来像

町民や観光客から信頼される、
持続可能な国際リゾート

目指すべき地域の姿 1

成熟した通年型の
国際リゾート

- ✓ オフシーズンのない、国内外から支持される地域
- ✓ 環境に配慮したサービスや商品が提供されている地域
- ✓ 魅力的な職場として若者から観光産業が選ばれる地域

目指すべき地域の姿 2

高品質・高付加価値の
国際リゾート

- ✓ 自然・歴史・文化を活かした地域ならではの本物の観光体験（ユニーク&オーセンティックな体験）ができる地域
- ✓ 観光客が安全でストレスを感じずに楽しめる地域（アクセシビリティとユニバーサル）

目指すべき地域の姿 3

町民が誇れる
国際リゾート

- ✓ 観光客・観光事業者・町民が互いを認め、地域の自然や文化の魅力を理解し、環境等に配慮した行動をしている地域
- ✓ 町民が観光の恩恵を実感できる地域

まちづくり情報室

課題と将来像

でも観光の影響は、マイナス面だけでなくプラス面も多いよ。例えば観光消費は昨年度約350億円と推計されるんだ。これに伴いたくさんの雇用も生まれるし、仕事があることで移住者も増える。人が増えれば地域は元気になるし、お店が増えれば町民のみなさんの生活も便利に、そして町の税収も増えるといった相乗効果が生まれるんだ。実際に、地元雇用を優先したり、できるだけ地元の商店から仕入れたり、といった取り組みを実践している事業者も多いよ。新しい基準では、それらを町の状況にあわせて可能な範囲で把握し、地域にとって良い方向に変えていこうとするものなんだ。



ビジョンでは、ニセコ町の観光の課題として、次の5つをあげているんだ。

【課題①】観光需要の季節変動

【課題②】観光経済波及効果の向上

【課題③】二次交通（域内交通）の機能強化

機能強化

【課題④】国際的な競争力の向上

【課題⑤】町民の観光に対するコミットメント（理解と参画）

トメント（理解と参画）



「旅行者から選ばれる観光地」として重要な課題だ。例えば課題①では、観光客に良いサービスを提供するには、働く人の環境を良くする必要があるという考えで、観光の季節変動が大きいと通年での雇用が難しく、働く環境を向上させられない状況を指摘しているのかな。



その通りだよ。持続可能な観光地になっていくためには、観光客目線だけでなく、地域目線・町民目線も大切だと考えているんだ。2021年に行った町民アンケートでは、将来、観光業で働いてみたいと考える子どもの割合は14・3%、子どもに観光業で働かせてみたいと考える保護者も20・8%と低い結果となっている。コロナ禍でのアンケートだったことも影響していると思うけど、改善していかなければならない課題となっているよ。また、同じアンケートでは、町の発展に観光が重要な役割を果たしていると思う人は85・2%であるのに対し、観光の発展で生活が豊かになると感じる人は38・9%ほどで、結果に隔たりが見られたんだ。観光によるエネルギー消費やごみ排出といった環境への影響に限らず、経済面も含めどう観光が町民の暮らしに関係していくか、それを実感できるかも大切な要素だね。

ビジョンの基本戦略と施策の方向性（図2）

〈基本戦略〉	〈施策の方向性〉
基本戦略 1 観光産業の 安定的な経済活動と 地域貢献	1-1 季節変動の平準化と雇用の安定 (従業員の所得向上・福利厚生充実) 1-2 観光事業における域内調達率(材料・雇用等)の向上 1-3 観光事業者の地域コミュニティへの貢献 (カーボンオフセット等)
基本戦略 2 観光客の多様な 価値観への対応と 受入環境の整備	2-1 観光客への特別な観光体験(宿泊・食・アクティ ビティ等)の提供 2-2 観光客・町民の地域資源(自然・文化・歴史)への 理解促進 2-3 安全で快適に観光できる受入環境の整備
基本戦略 3 観光によって 町民生活の 質を高める	3-1 観光客の環境配慮型行動の喚起 3-2 地域の魅力や観光の取り組みの情報発信 (インナーブランディング含む) 3-3 観光関連の起業を増やし、自然・文化の継承に寄与

なるほど。観光によるマイナ
スの影響をできるだけ小さく
しつつ、課題②や⑤にあるように、地
域経済への波及効果を高め、町民の
暮らしの豊かさや地域へのプラス効
果を大きくしていくこと、そして、そ
の恩恵を町民一人ひとりが実感でき
るようにしていくことも重要なんだ
な。そのためには、観光の地域への影
響や効果を分かりやすく伝え、みな
さんの観光に対する理解や関わりを
深めていく必要があるんだ。

これらの課題を踏まえ、ビジョ
ンでは、目指すべき将来像を
「町民や観光客から信頼される、持続
可能な国際リゾート」としているよ。
また、3つの地域の姿を定めている
んだ(図1)。ここには、町の観光を支
える豊かな自然資源を次の世代につ
なげていく責任と、観光客だけでな
く、町民からも愛され信頼を集める、
町の暮らしと調和した観光地を目指
す決意が現れているんだ。

取り組みと財源

その将来像の実現のため、ど
のようなことをどのように取り
組んでいくんだい。

3つの基本戦略とそれにひも
付く取り組みの方向性が整理
されているよ(図2)。これからは、観
光ニーズの変化にも対応しながら、
この方向性に沿って、観光振興のた
めのいろいろな取り組みが検討され
て、実施されていくんだ。

確かに、アフターコロナで、
観光の状況は大きく変化して
いる。例えば課題③の二次交通など
はより課題が深刻化しているといわ
れているね。でも取り組みを進める
には、相当なお金が必要なんだよ。

二次交通に限らず、ビジョン
に沿った取り組みを継続的に
行っていくためには、観光に使える
新しい財源(お金)が必要。そこで、ビ
ジョンでは宿泊税を提示しているん
だ。宿泊税は、町内に宿泊する旅行者
が納める税金で、旅行者によって生
じる課題の対策(交通や宿泊施設の
環境負荷軽減など)に使われるんだ。
このお金で課題解決を図り、観光地
としての魅力を高めることで誘客に
もつなげていく。世界の観光地では
すでに導入されているところが多
く、近くだと但知安町が導入してい
るよ。町では8年前から新しい財源
の検討をしていて、現在、宿泊税導入
に向けた作業を進めているんだ。

ニセコ町が将来を見据え、町
民や観光客により良い観光地
となるために、新しい考え・制度を
検討しながらチャレンジしているこ
とがよくわかったよ。

「住んでよし、訪れてよしのニセコ
町」。生まれ育った故郷のニセコ町、
そして世界の旅から時々立ち寄りニ
セコ町、どちらの変化も楽しみだぜ。

問合せ／商工観光課商工観光係

Tel 0136-44-2121

担当 川埜・阿部